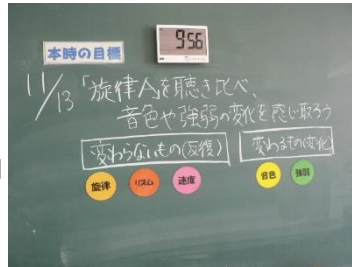
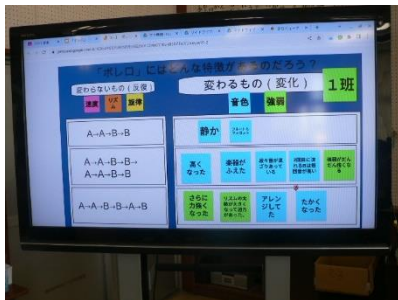


音楽3年 「ボレロ」 M.E教諭

フランスの作曲家ラヴェルは、ボレロ（スペインの舞踊）のリズムと単純な旋律を用いて大胆で独創的な音楽を生み出した。バレエ音楽として、パリのオペラ座で初演され、同じリズムと3種類の旋律の繰り返しが、観客を興奮の渦に巻き込む。

【授業の流れ】

- (1) ねらいの確認
「ボレロの旋律を聴き比べ、
音色や強弱の変化を感じ取ろう」

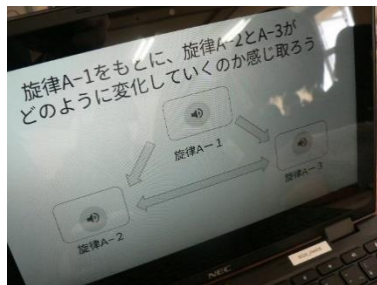


反復されるリズムを各自が実演する。

変化するものと
しないものを確認。

旋律A-1 ポリュームをあえてぎりぎりまで小さくすることで、聴く集中力を高める。(導入の工夫)

- (2) 個人で考えを持つ
「個別最適な学び」10分間があつという間に過ぎていく。
いつでも何度でも必要な部分を聴くことができる。自己選択と自己決定。



旋律A-2 複数の楽器の旋律への重なり気付かせる。
旋律A-3 オーケストラ楽器の一体感が生み出す強弱に気付かせる。

- (3) グループで共有
「協働的な学び」
Jamboardにまとめる。



話し合いが終わったとき、「ありがとう」と言い前を向く温かさ。

- (4) 全体で共有
(5) オーケストラ映像を鑑賞 → 次時は実際の舞踊を鑑賞

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」